全教職員配布

くみあいニュース 山口大学教職員組合（2026 年９月 28 日 Monday）

第 314 号（2025 年度-第３号）／電話：083-933-5034・メール：fuy-union@galaxy.ocn.ne.jp

26 人勧出る！月例給 3.51% 賞与 0.05 月分で年間 4.70 月に(8/7)

人事院は８月７日（金）午後、今年の勧告を行いました。月例給 3.51% ・賞与 0.05 月分で年間 4.70 月等（右表参考）。これを受けて組合は８月 20 日、2026 年人勧の完全実施求める要求書を学長宛に提出しました。今後の流れとしては、国会上程後、おそらく 12 月には給与法改正が成立し、相当数の国立大学で 12 月実施のうえ４月まで遡って差額が支給されることになると予測されます。山口大学も 2023 年度まではそうなっていました。2024 年度は４か月分の値切り（年度末の一時金支給で８月実施相当）、2025 年度はまったく放置されたままです。

人事院勧告比較

年度	月齢給	ボーナス計	ボーナス引上げ分	ボーナス内訳
令和7年度（2025）	+3.62%	4.65月	0.05	期末･勤勉手当0.025ずつ配分
令和8年度以降（2026）	+3.51%	4.70月	0.05	同上
R7+R8	+7.13%	+0.1か月		

2026.8月時点

ニュース前々号（７月 30 日発行の第 312 号）でお知らせしたとおり、組合が７月 17 日、学長に対して再度の交渉を申し入れたところ「９月以降にならないと」との話がありましたが、その後９月７日に藤田人事課長から、診療報酬改定に伴うこの間の病院の増収額確定は 10 月６日となるので、その後に交渉に応じたいとの話があり、現在交渉日程の調整待ちとなっています。

▶再任用含め中高齢層へ厚く配分 一方で能力･業績主義強化も

人勧は昨年並みの給与等引上げを報告していますが、大きなところでは、昨年は若年層優遇の陰で抑えられていた中高齢層への配分が今年は厚く配分されていることが目立ちます。その延長線上で、再任用者は 8.5%と大きな引上げとなっていますが、一時金支給月数が常勤職員の約半分とされている問題は解消していません。しかし、55 歳超職員の昇給停止・抑制措置、60 歳超職員の賃金７割支給据置という不合理な賃金抑制は残されたままであり、職務・職責に見合う是正は今後の課題となっています。

この他、年間７日限度の無給休暇新設がありますが、住居手当等の改善は盛り込まれませんでした。

▶まずは25年度人勧対応の給与表改正 続いて26年度人勧完全実施を

これまで言われてきた山口大学の「厳しい財政事情」はそのまま続いているわけではありません。文科省補正予算・診療報酬改定・附属病院の経営努力による赤字減など、給与改定実施のための条件は拡大しつつあります。要は「経営者」の判断・決断にかかっています。現場教職員が他のよりよい待遇・よりよい研究条件を志向せざるを得ない状況を打開するためにも、トップの判断が強く求められます。

“昇任したがこの役職、この仕事はきつい“ならば降任希望も可能に



９月７日（月）、人事課による 10 月１日付け就業規則改正説明がおこなわれました。内容は「希望降任制度」「常盤キャンパス学部事務部勤務時間の見直し」「カスハラ・就活セクハラ対策関連規則改正」の３件でした。うち「希望降任制度」は、事務職員等が昇任したものの諸事情により役職の業務が負担となり、降任希望を申し出た場合、本人・関係者等のヒアリングを踏まえて、降任を可能とする制度の開設であるとのことでした。

気がかりな給与については、事務職員の場合、例えば副課長ですと俸給４級もしくは５級ですが、４級の場合は係長に降任したとしても、係長の上位給になるため４級据え置きとなります（係長俸給＝４級，３級）。５級だと４級へ降格となりますが、その場合でも「直近下位」で大きな減額とはなりません。また降任後に、希望理由が消滅した場合は、希望すれば他の職員と同様の手続きのもと再び昇任することができるとも規定されており、それぞれの方の状況によっては活用できる制度になり得ます。ただし本人の「希望」を口実にした人事上の悪用も起こり得ないとはかぎりません。濫用を防ぎ健全に運用するためにも、たとえば申請後に一定程度、撤回の猶予期間を設けるなど、慎重な制度設計が求められます。

R7年度決算について財務課長からの説明を聴く(8/21)



組合は、8 月 21 日に財務部財務課より標記説明を受けました。財務課からは今年 4 月に着任の林田智史財務課長および財務課職員計４名、組合からは、三原委員長、桑畑副委員長等５名が出席しました。まず林田財務課長より、財政資料をもとに令和７年度決算の概況について説明を受けました。外部資金の獲得や附属病院の収益、国からの補助金など増加しているものの、一方で診療経費･教育経費･人件費等の支出も増加しており、とくに附属病院の赤字が全学の収支に大きく影響していること、そして最終的な総損失は前年度よりも悪化していることなど説明がありました。質疑応答では、目的積立金の残金がないことや、2025 年決算は附属病院の経営努力や国からの補正予算・補助金等もあり、厳しい財政状況ではあるものの当初の見込みよりも明るい兆しがみられることなどもわかりました。このほかにも、提供データに関する質問や、大学予算や方針に対する組合の問題意識なども伝えましたが、それぞれについて財務課長等から丁寧な回答がありました。

▶教員の研究費、配分単価は１人当たり「15 万 8,000 円（前年度比 14.7%減）」

当日はこのほか、7/30 付申入れでも併記していた「教員の研究費」に関する質疑応答もおこないました。財務課からは、令和８年度予算編成では、各部局への予算を一律で前年度比 14.7%減として配分したが、うち研究費も同率減とし、１人当たりの配分単価を「15 万 8,000 円」としたとの説明がありました。算定にあたっては、前年 10 月 1 日時点の教員数をもとに積算し部局に配分しているとのことでした。また、財務課として各部局での研究費について、部分的には承知しているが、全体的な事後調査などはおこなっていないとの回答がありました。

退職者の会　年4回の会報と年１回のレク行事で旧交温める(6/20)

退職者の会（山口大学教職員組合退職者の会）が６月 20 日（土）に総会を開きました。総会では、１年間の行事等報告と翌年度の事業計画を決めましたが、総会に先立ち、山口大学教職員組合から、組合の歴史・成果・課題等について報告をし、質疑討論を行いました。事業計画としては、好評の会報を昨年同様に年４回発行し、親睦行事（昨年は紅葉狩り/重源の里）も年１回行うことが承認されました。

ビヤ・パーティー盛り上がる～9/4 吉田キャンパス”きらら”にて～



コロナ蔓延以来中断していたビヤ・パーティーを、吉田キャンパスの第２学生食堂きららにて開催しました。新しく組合に加入された方も参加され、楽しい時間を過ごしました。冷えたビールや、鮎の塩焼き、寿司、夏野菜ピザ、瓦そばなど料理も盛りだくさん。当日 17 時 30 分に始まり、19 時 40 分大学発のバスにも間に合う 19 時半までの間、三原委員長の挨拶や参加者の自己紹介を行い、組合への期待等を語り合いました。来年も開催しますので、今回参加できなかった方、また、宇部地区の方もぜひご参加ください。宇部地区からの参加者には宿泊費を補助します。これからも親睦を深めながら組合活動を頑張っていきましょう！

■■組合に加入して、もっとおトクに！～ろうきんの各種ローン■■

ビヤ･パーティなどの企画のほか、組合員のメリットはほかにもたくさんあります。

労働金庫（ろうきん）の利用もその一つ。各種ローンを一般より低い金利で利用できます！

組合に加入して、🚙車･🏠住宅･🖉教育など、大きな出費のさいに労金を活用しませんか？



バックナンバーはこちらから
（組合公式ホームページ）

組合公式 X はこちらから